

肱川

行町 168
 肱川 128
 TEL {
 編集
 総務課
 1966.3.20

肱川町消防団

出初式終る

本年度肱川町消防団の出初式は、三月十日午前九時より、肱川中学校校庭において挙行、知事代理を始め、県事務所大洲出張所長、警察署長、郡内消防団長、町内議会議員外有志多数参加のもとに、団旗、分団旗の授与について、団員三三四名の姿勢、服装の点検、各種操法、部隊訓練、一斉放水、分列行進等、勇壮活発なる活動を終り、表彰式に移る。

愛媛県知事表彰
 ○功労賞

第一分団 班長 池田 平男
 第二分団 班長 出水 好明
 第三分団 班長 岡村 利三
 第四分団 班長 今岡 安盛
 第五分団 班長 沖野 美治
 第六分団 班長 松本 常一
 第七分団 班長 上野 時衛
 第八分団 班長 石田 勝

愛媛県消防協会長
 ○功績賞

第三分団 班長 岡村 利三
 第四分団 班長 今岡 安盛
 第五分団 班長 沖野 美治
 第六分団 班長 松本 常一
 第七分団 班長 上野 時衛
 第八分団 班長 石田 勝

知事、消防協会長、郡連合会長、町長表彰等、受表彰者は四十五名、好天候にめぐまれた当町の出初式は、午前十一時三十分盛會裡に終了した。

尚表彰を受けた者は下段の通りです。

喜多郡消防団連合会長
 ○勤続賞

第三分団 班長 沖野 次雄
 第四分団 班長 石田 保

2月の出来事

- 2日 肱川町新生活運動地区集会
- 4日 青年の日
- 5日 産業委員会
- 9日 遺族会役員会
- 10日 町政懇談会中津小 妊婦検診
- 11日 友愛会総会
- 14日 川上商工会講習会 農業委員会 建設業者登録簿審査 婦人会役員会
- 15日 肱川川辺地区民生委員研修会
- 18日 文化委員会
- 19日 タバコ組合講習会 青年団演劇発表大会
- 20日 青町常会
- 22日 後継者学級
- 23日 議事委員会
- 25日 養鶏組合総会
- 26日 農作物病虫害防除打合せ会
- 28日 農政懇談会小敷地区

天皇皇后両陛下 伊予路を南予へ

陽春の四月国土緑化推進大会に天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ植樹祭がとり行われます。両陛下にはこの機会に南予方面の御視察を遊ばす趣きであり、その御予定は次の通りと届けまわります。皆さんと共に心から御奉迎申し上げたいと存じます。

- 四月十五日 東京御出発 岡山県御投宿
- 四月十六日 岡山御出発 松山鮎屋御投宿
- 四月十七日 植樹祭御成 (温泉郡久米村) 種まき式御成 (果樹試験場)
- 四月十八日 護国神社御参拝 (松山)
- 四月十九日 立間農産物御視察 (午後二時二十七分)
- 四月二十日 吉田九島御投宿 (天放園)
- 四月二十一日 宇和島御投宿 (午後二時四十分)
- 四月二十二日 大洲御投宿
- 四月二十三日 松山御投宿
- 四月二十四日 今治御投宿
- 四月二十五日 東山御投宿
- 四月二十六日 香川御投宿
- 四月二十七日 空路御帰還

- 第一分団 団員 松本金太郎
- 第二分団 団員 西岡 進
- 第三分団 団員 榎田 博
- 第四分団 団員 水口 石衛
- 第五分団 団員 新 恆行
- 第六分団 団員 井脇欣一郎
- 第七分団 団員 向井 忠男
- 第八分団 団員 増田 繁寿
- 第九分団 団員 村田 勝好
- 第十分団 団員 金森 勝
- 第十一分団 団員 亀井 義久
- 第十二分団 団員 森田 末光
- 第十三分団 団員 西山 光晴
- 第十四分団 団員 萬願寺 清
- 第十五分団 団員 藤原 富夫
- 第十六分団 団員 高倉 政徳
- 第十七分団 団員 金野 明弘
- 第十八分団 団員 山内 三郎
- 第十九分団 団員 久保部落 今宮 勝美
- 第二十分団 団員 大洲警察署長感謝状
- 第二十一分団 団員 肱川消防団 第一分団
- 第二十二分団 団員 町長感謝状
- 第二十三分団 団員 中川高徳
- 第二十四分団 団員 蔵田 博行
- 第二十五分団 団員 中田 勇夫
- 第二十六分団 団員 二宮賢一郎
- 第二十七分団 団員 岩野 清信
- 第二十八分団 団員 和氣 昌介
- 第二十九分団 団員 富永 絶行
- 第三十分団 団員 高田 定務
- 第三十一分団 団員 上田 福一
- 第三十二分団 団員 園 隆夫
- 第三十三分団 団員 川本 哲治
- 第三十四分団 団員 山本 茂行

国民年金は私たちの恩給

大改正が予定される国民年金

- ①老令年金 月額 五千元 (現行二千元)
- ②障害年金 月額 八千元 (現行三五百元)
- ③母子、準母子年金 月額 五千元 (現行二千元)
- ④一級加算額 月額 千円 (現行五百元)
- ⑤最低保障額 月額 五百円 (現行二百元)

昭和四二年一月より実施

- Ⅰ保険料の改定
 - 三五才以上 月額 二百五十円 (現行百五十円)
 - 三五才未満 月額 二百円 (現行百円)
- Ⅱ年金額の引上げ
 - ①老令年金 (昭和四二年一月実施) 月額 千五百円 (現行千三百円)
 - ②障害年金 月額 二千二百円 (現行二千円)
 - ③母子、準母子年金 月額 千七百円 (現行千五百円)
- Ⅲ支給要件の緩和
 - ①受給権者の所得制限限度額の引き上げ
 - ②障害の範囲の拡大
 - ③夫婦で、老令、障害の福祉年金受給の場合の制度廃止

従来、私たちが年をとったり、不具廃疾となったり、母子状態となった場合、その生活を保障するものとしては、現行の年金額では、あまりにも僅少すぎはしないかという声は、しばしば聞かれるものであり、さきに、厚生年金の「一万円年金」が実現している現在、その均衝上も、今回の改正は当然待たれたものといえるでしょう。すなわち、今回の改定により、厚生年金の「一万円」に対して、国民年金、母子年金等の最低保障額は、厚生年金のそれと同額となるわけです。

植樹祭 挙行

国土緑化推進大会

国を治める者は水を治める者と治山治水が政治統治の要諦であることを教えております。かつて体験いたしました昭和十八、二十年の大水害の惨状を想います時水を治めることが民生安定産業経済の発展に如何に重要であるかを知ります。戦後経済再建が策定されるに至り治山治水と資源涵養の重要性が認識され「山に木を植よう」と緑の羽で表徴されます。国土緑化運動が強力に展開され、この裏付事業として造林補助が推進されております。

この国土緑化運動の最大行事であります植樹祭には必ず天皇皇后両陛下の御来臨を仰ぎ各県終戦後農地改革の指令によって実施されました解放農地に対し報償給付の措置がとられることに関しましてはご承知の筈と存じますが、手続が低調のようです。該当件数二七〇件の内手続済み八十一件です。当町農業委員会では毎週火曜日に手続きの御指導をいたしております。

記

一、名称

植樹祭及び国土緑化推進大会

二、期日

四月十七日（晴雨に拘らず挙行）

三、開会

午前十時 国土緑化大会

午前十一時 植樹祭挙行

両陛下下幸啓は十一時四十分

四、終了

正午行事のすべてを終る。

去る三月十一日、午後一時より、鹿野川荘にて肱川町椎茸生産販売協議会第三回通常総会を開催した。昭和四十年事業報告及び四十一年度事業計画設定、会則変更並びに任期満了による役員改選を行ない、再選された役員は左記の通りである。

肱川町椎茸生産販売協議会

第3回総会盛會裡に終る

理事 会長 香川亀久次郎
副会長 西本 源裕
寺尾 武由
畦崎 伸穂
山内 久綱
東 繁太郎
深田 政市
山崎 佐造
奥野 定芳
永田 茂喜
全 全 全 全 全 全 全 全
記念講演に全国椎茸普及会理事 長、常田修氏、同じく、西尾 技師、県森連共販所 高石技師

だれにもできる

テレビの調整と修理

NHK教育テレビでは、四月四日から、七月二十九日まで毎週月水金の三日間、午後七時三十分から八時まで、テレビ技術の基礎から修理までを放送します。この番組の利用者の方に、一層の理解を深めていただくため松山市中央放送局営業部で、スクリーニングを行なう事を計画しております。

該当の方々には早目に給付の申請を急いで下さい。

肱川町農業委員会

苗木の持運びについて

皆さんは、植樹される場合、苗木の根を乾燥させないで、苗木の完全活着をはかっておられるでしょうか。先日巡回の際、苗木をハダカにて、オイコで、背負い造林地に運んでいる人を見かけ、驚いたところ。そこで、造林の際に根を乾燥させないための、簡単な方法を

肱川土場木材相場表

長寸	すぎ	ひのき	まつ	その他
4m	7cm下	52	52	サツバルブ 1.5m~2.1m 未口6cm上 13円
	8"上	53	54	
	12"	43	54	
	16"	43	54	
4.20	30"	43	58	マツバルブ 1.5m~2.1m 未口6cm上 22円50銭
	7 下	35	36	
	8 上	40	43	
3.2	13"	46	58	松箱材 2.10m 未口14cm上 26円50銭
	16"	43	48	
	7 下	22	25	
2.0	8 上	12	15	足場 1m付 50~70
	16"	22	22	
	2.1	30"	28	
1.0	12上	15	17	
6.0	13上	50	66	

本表は 肱川町内の自動車土場の価格です(才当り)
故に 運賃や市場手数料など差し引いたものです

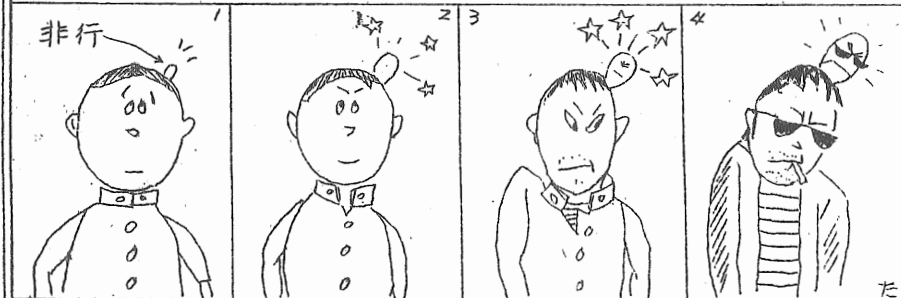
乾しいたけ相場表

県森連しいたけ共同販売所に於ける 相場
1, 入札の月日 41.35
2, 入札の箱数 180箱
3, 価格 (K当り)
高値 1,710-
平均 1,210-
安値 860-
4, 概要
どんこは強気配
香信は品も良くないため弱気配
良品はやはり高値である

三月(彌生)の解説

三月の和名(陰曆)を「やよい(弥生)」といいます。やよいとは、万物がいやましにおい育つことです。旧三月(太陽曆の四月)が、あらゆる生物の成長する月として、やよいと呼ばれたことは、まことにふさわしいといえましょう。英語では「マーチ」といいますがローマの軍神マルスからその名を取ったものです。

ハレモノは早いうちに手当を



町人口動態
四十一、二、三十一
人口 五、七七一
男 二、九二〇
女 二、八五一
世帯 一、二五八
出生 生
上 富永三知
中 上野富子
中 柴田三千代
上 森戸美千代
◎ 上 鹿野川 死
◎ 久 保野川 死
久 大塚 越
上 大塚 越
数 森本 増
嘆 巖谷 渡 雄一